

青年俳優の獎勵 時事新報の金牌

演劇は文明の事なり俳優は文明の人なり。彼は凡俗世界の玩弄物に非ず。既に文明の人とあれば其技倆も亦百級の文明事業と共に歩み共にして驛々上達すべきは論を俟たず。左れば梨園の巨擘市川團十郎、尾上菊五郎、市川左團治等凡そ老練の輩は藝道既に已に大成して世間自から一定の評價を蒙る可き。然るに其間に於ては、若し其以下の後進生は則ち然らず。日夜勉勵先達の驍尾に就て進まんとする其志は正に是れ春風に開くの花夏雨に浴するの草一夜の間に面目を改めて人を驚かすもの多し。依て時事新報社は曾て同僚の相撲に銀盃を贈りて大に力士社會の氣風を引きたる先例もあり。かたゞ世間の好評家を煩はし是等日新の俳優中に就き、これか今度歌舞伎座の五月芝居に大に技倆を進めて觀客を悦ばしめたる者か各々其見所に従ひ優の地位無難に指はらず。唯の不利を問はず唯その腕前の進歩を標準にして投票せられんものと云ふ者なり。其投票法は時事新報の此社告文を切取き指定の場所に目指す。俳優の名を記して本社へ送付せらるゝものとす。社に於ては本月三十一日まで集まりたる其投票数を計し、最多の者及び以下二名へ金牌を贈る可し。亦是れ梨園獎勵の一助たる可き事。

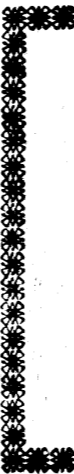
時事新報社

廿六年五月

投票法

- 一、投票せんとするものは時事新報の此社告文を切取り被撰俳優とある下に其俳優の名を記入して本社に送らるべし
- 一、投票は一枚に一名限り記入すべし
- 一、撰ぶべき青年俳優は今度歌舞伎座へ出動するものに限る
- 一、投票は来る三十一日を期して一切の直ちに開票し、其得票数も多きもの三名に本社より金牌を贈る

投票券



時事新報

第四博覽會に就ての聯合計畫

来る明治二十八年は神武天皇奉安遷都の千百年に相當するを以て其紀念祭を舉行し及び第四回内閣勸業博覽會を開設するに付、此機に乗じて京都の有志者が發起となり東は愛知三重、岐阜、滋賀、西は廣島、徳島、岡山、大坂、奈良等凡そ海陸旅行の便なる各地を聯合して博覽會を舉行すべし。是れは正に是れ春風に開くの花夏雨に浴するの草一夜の間に面目を改めて人を驚かすもの多し。依て時事新報社は曾て同僚の相撲に銀盃を贈りて大に力士社會の氣風を引きたる先例もあり。かたゞ世間の好評家を煩はし是等日新の俳優中に就き、これか今度歌舞伎座の五月芝居に大に技倆を進めて觀客を悦ばしめたる者か各々其見所に従ひ優の地位無難に指はらず。唯の不利を問はず唯その腕前の進歩を標準にして投票せられんものと云ふ者なり。其投票法は時事新報の此社告文を切取き指定の場所に目指す。俳優の名を記して本社へ送付せらるゝものとす。社に於ては本月三十一日まで集まりたる其投票数を計し、最多の者及び以下二名へ金牌を贈る可し。亦是れ梨園獎勵の一助たる可き事。

の二所八縣は國土の中心なるのみならず、我が國の中心にして、建國以前より蓬萊洲の稱を博したるも此地方なる可く、建國以降文學の發達も皆此處に在り。云ふも不可なれば、觀る者をして嘆美せしむるもの多し。是れ固より言ふを俟たず。此回の博覽會を利用して之を發揚せんとの趣向は實に世人の希望に叶ひたるものにして、特に外人をして我日本を羨望せしむるの好手段と云ふ可し。是れより先き我輩は毎度日本を以て世界の一大樂園となす可きを論説せしが、其意決して好奇にあらざる我文華の美、我風土の麗自ら是れ世界の耳目を動かすの引力あるものと信ぜられたる。吹聴し表示して東洋出色の國柄たるを知らしめ、文明國人を以て善後を瞻望せしむるは勿論坐して萬國の財を招き一大富源となさんと欲するに在り。蓋し文華風土の美麗を愛するは人情の自然なれども、中西洋人の財方に裕かなる萬里を遠しとせしめて遊覽を試みるは恰も其習癖なれば之が爲めに年々費やす所頗る大にして、現に伊太利の如きは風土の美なる上に古昔羅馬の遺蹟を以てし、又羅馬法王の廟元なれば遊覽の外人殆んど無數にして隨て金の落るる影しく統計上如何にして出入相償ふ可らざる同國の國計にてありながら依然歐洲の雄國に列するものは海關稅にありず工業發にありず實に遊覽者の賜ものなりと云ふ。又佛蘭西の首府巴里は一名世界の首府と稱せられ、華奢風流の中心なれば是亦諸國遊覽者の目指す所となりて其年々の所得は算す可らざる程にして首府の全盛を維持するのみならず、隱ゆる佛人は譯せる外人をして佛國の富強を助けしむと云ふ。唯、佛國の至りに至るは右の如く世界遊覽者の耳目をして専ら佛に注がしむるは從來の狀況なれども之に加ふるに我日本の風土文華を以てしたらば、恰も天地間の三美にして之を全備せざるは天賦の缺くものなり。全備して利用せざるは我國人の不覺にあらざるや。交遊科の世の中に之を開き、國富を成さんんと欲して望なきにあらざる常に隔靴搔癢の思に堪へざりしに、此回前記の聯合計畫を我輩の宿願を實にするの先驅なれば其施設の委くして是して我日本國をして東洋の樂園、世界三美の一たらしめんことを願はしければ幸にして計畫委員の注意能く行用す。神社佛閣の修繕、名區古跡の説明に申すに及ばず、旅行人力車等の世辭までも備へて、殊に本年の米國シカゴ博覽會場、此旨を廣告す可し。是れいみじき恩付と云はざる可らず。施設計畫中大坂の部に「其筋の許可を得れば大坂城の上に望觀臺を造り市内博覽の用に供する」とあり。勿論城内をも鑑覽せしむる可きものなり。是れ天下の名城なれば尺度を備へ置きて天主堂の高さより彼の大石等を測量するの用に供したらば外人の如きは唯是れのみにて肝を潰すや、疑ある可らず。又大坂城のみならず各所とも其筋の許可を得つもの少ならざれば當局者も區々たる規制等に拘泥せずして國の爲めに充分の努力ある可きは無疑。斯くて若しよく施設を遂げたらんには内外人の満足と共に由て以て永く國光を輝け、國益を收め、間接直接に裨する所實に意外のものある可し。我輩は其成續を斷りて委員諸氏の勞を謝するものなり。

官報

○司法省告示第二十六號
和歌山地方裁判所管内新宮區裁判所廳舍車庫事務官町大字初野三新築落成ニ付本月二十日ヨリ開所ニ於テ裁判事務ヲ取扱フ
明治二十六年五月十五日
司法大臣芳川正

○逓信省告示第四十一號
海外電報料金ニシテ錢米滿ノ總數アルモノハ電報一通毎ニ其總數額ヲ一語料ニ乘算シ尙端數アルトキハ之ヲ端位ニ切上收收スルモノトス
明治二十六年五月十五日
逓信大臣伯耆黒田清隆

報

○白耳義の革命(十二日の續き) 叙ニツセン案に定めたる複數投票權許與資格と云ふは
第一 三十五歳以上達したる各男市民又は其職業の爲め罷免されたる者を除き政府へ少くとも五法の租税を出し居る所の課夫
第二 少くとも二千法の價格ある不動産の所有者なるか又は少くとも二年の間、白耳義債償にて十萬法以上の所有者として公債の還帳又は貯蓄銀行の株帳に記載されたる二十五歳以上の各男市民
第三 高等教育の本業免狀又は公立者しくは私立の學校に於ての高等教育全科目出席を示す所の免狀と同様の證書を所有するか又は公共の役務を勤めたるか或は助めつゝあるか又は職に居りつゝあるか或は居りしか又は専門の職業を爲しつゝあるか或は爲したる所の二十五歳以上の各男市民、誰にても三票以上の投票權は得可からずして投票は強行なり
此度の普通選挙案が暴動に就きブルツケル四月十二日の報に今日下院の議事終りたる後、間もなく痛く激昂したる群民は集り來りて示威の舉動す。烈しきに之を巡査は召集されて攻撃の用意を命ぜられたり。第四時、國會堂に最も近く居りし所の労働人共は普通選挙の爲めに大聲叫び巡査の列を目標けて推進みたり。左れば巡査は抵抗する能はずして退くを群民は得たり。附入りて其位置を占めんとす。騎馬の兵士は抜刀を振舞して突進し群民之に應じて投出す石は雨の如し。此間取に石もて撃たれし巡査は數多く數多の一擧の徒は切られて馬足に蹂躪られたり
左れば此勢に彼等は一時退散すれども復集まりて石を投げるものと元如く追へば退き止むれば追ひ込み容易に治まる可き氣色もなく終に國會堂の近傍にて捕縛されたる者は十五人に達したり。此捕縛の報知の傳はるや當府の他の部分にも數多の騷擾を生じ數名の捕縛ありたり
同盟罷工の運動は盛ん最中
にて之に加盟したる三百の鐵夫は今日カレニオン村に於て非常の暴行を遂じうしけるが、礦坑の中に働居りし者共は此暴行を共にするを辭しければ彼等は有らゆる
鹿茶をシャントの中に
投込み中なる者を封じ込めんとしたり。礦坑の役員は之を制止するの力なく、無比較を憲兵に乞ひたるが未だ其來着する前に礦工の鐵夫は既に著しき損傷を爲し果てたり。現も憲兵は直に暴徒に退散を命じたり。承引せざりしを以て止むを得ず力を以て背打ちにし斷

く之を追ひたり。今午の賑なりクウエームの賑なり。四千人の者を追ひたり。押寄せ人を追ひたり。崩しクウエームの大。と云ふ。巴里四月十五日。たる事件は若しも國。投票權を許與せざる。若しも革命の起りた。歐洲一般の。は終に導く可らず。條の在るありて。巴れの國の兵艦を定。代りて之を定めんと。ガムエッタ。此約條の主意のある。あれ一旦あるの。の邊境を占む可し。ものはライオン河。大難の難なればなり。獨逸の干渉も決して。一人たりとも白耳義。自國に面したる國境。線込み可く即ち後。るがみは大漢の病。國面をして白耳義の。争ふ必要を感じし。此問題に佛蘭西人。意見に由て戰は終。然れども佛。に危急は直に來ら。に降服して萬難の終。きよとなれども何。來、烈しき攻撃を受。運命あり若し佛蘭西。是の故を以てなり。白耳義一國のみならず。なり佛蘭西を萌。者は執れば歐洲は。々戰亂の患境に陥。一場の慘事なり
○千嶋諸嶋漁獲
十一年より毎年水産。に從事し來りしが本。色丹諸嶋に於ける。て近日水産課事業手。船二艘に乘組み東海。く漁獲するよし右の。海の探究も組ば。礎として調査を遂。の探究調査に着手す